

平成24年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年4月5日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ホテル、ニューグランド

コード番号 9720 URL <http://www.hotel-newgrand.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 兼 社長 (氏名) 原 範行

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 岸 晴記

四半期報告書提出予定日 平成24年4月13日

TEL 045-681-1841

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年11月期第1四半期の業績(平成23年12月1日～平成24年2月29日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年11月期第1四半期	1,277	2.6	15	—	15	—	23	—
23年11月期第1四半期	1,245	△5.6	△36	—	△37	—	△28	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年11月期第1四半期	4.03	—
23年11月期第1四半期	△4.92	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年11月期第1四半期	11,022	7,982	72.4	1,373.94
23年11月期	11,156	7,964	71.4	1,370.87

(参考) 自己資本 24年11月期第1四半期 7,982百万円 23年11月期 7,964百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年11月期	—	0.00	—	5.00	5.00
24年11月期	—	—	—	—	—
24年11月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年11月期の業績予想(平成23年12月1日～平成24年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,500	△1.1	△30	—	△30	—	△15	—	△2.58
通期	5,100	7.1	51	—	50	—	25	—	4.30

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年11月期1Q	5,856,400 株	23年11月期	5,856,400 株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

24年11月期1Q	46,333 株	23年11月期	46,333 株
-----------	----------	---------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年11月期1Q	5,810,067 株	23年11月期1Q	5,811,965 株
-----------	-------------	-----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(6) 重要な後発事象	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響による景気停滞から、復興需要により回復の兆しが見えてきたものの、欧州の財政危機による世界経済の減速や円高の長期化などにより、所得環境及び雇用情勢は引続き厳しい状況で推移し、先行きは未だ不透明な状況であります。

このような状況のもと、当第1四半期累計期間の売上高は、1,277,780千円(前年同四半期比2.6%増)となりました。

販売費及び一般管理費は839,960千円(前年同四半期比3.5%減)となり、営業利益は15,665千円(前年同四半期は36,760千円の営業損失)、経常利益は15,481千円(前年同四半期は37,380千円の経常損失)となりました。

この結果、第1四半期累計期間の四半期純利益は23,428千円(前年同四半期は28,576千円の四半期純損失)となりました。

なお、当社が営むホテル業は、第4四半期に宴会(婚礼)需要が強くなり、売上高が多く計上される傾向があります。

なお、セグメント別の業績は以下のとおりであります。

(ホテル事業)

ホテル事業の第1四半期累計期間の業績は、売上高1,263,728千円、営業利益9,380千円となりました。

なお、主な部門別の売上高は、宿泊部門262,792千円(前年同四半期比0.2%増)、レストラン部門324,713千円(前年同四半期比2.2%減)、宴会部門566,798千円(前年同四半期比6.1%増)となりました。

(不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業の第1四半期累計期間の業績は、売上高14,051千円、営業利益6,284千円となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

資産合計は11,022,249千円(前事業年度末比134,643千円減)となりました。

主な要因は売掛金33,709千円の減少、有形固定資産102,224千円の減少などです。

(負債)

負債合計は3,039,544千円(前事業年度末比152,506千円減)となりました。

主な要因は買掛金71,989千円の減少や、繰延税金負債85,717千円の減少などです。

(純資産)

純資産合計は7,982,704千円(前事業年度末比17,862千円増)となりました。

主な要因は利益剰余金5,621千円の減少や、土地再評価差額金21,604千円の増加などです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当期の業績予想につきましては、当第1四半期累計期間において概ね計画通り推移しているため、平成24年1月18日に公表しました「平成23年11月期 決算短信[日本基準](非連結)」から変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

繰延税金資産の回収可能性の判断

繰延税金資産の回収可能性の判断につきましては、前事業年度末以降の経営環境等に著しい変化が生じておらず、かつ一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度末において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(法人税率の変更等による影響)

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する事業年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。

これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用される法定実行税率は、従来の40.6%から、平成24年12月1日に開始する事業年度から平成26年12月1日に開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異については38.0%に、平成27年12月1日に開始する事業年度以降に解消が見込まれる一時差異については35.6%となります。

この税率変更により、再評価に係る繰延税金負債が21,604千円減少し、土地再評価差額金が同額増加しております。また、繰延税金負債の金額(繰延税金資産の金額を控除した金額)が16,102千円減少し、その他有価証券評価差額金が134千円減少し、法人税等調整額(貸方)が16,236千円増加しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4【四半期財務諸表】
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年11月30日)	当第1四半期会計期間 (平成24年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	984,571	1,014,255
売掛金	222,682	188,973
原材料及び貯蔵品	75,873	76,888
繰延税金資産	53,183	24,826
その他	34,923	28,770
貸倒引当金	△380	△320
流動資産合計	1,370,854	1,333,394
固定資産		
有形固定資産		
建物	9,128,305	9,128,305
減価償却累計額	△3,327,720	△3,371,403
建物(純額)	5,800,585	5,756,901
土地	2,975,845	2,975,845
その他	6,577,138	6,579,522
減価償却累計額	△5,785,671	△5,846,595
その他(純額)	791,467	732,926
有形固定資産合計	9,567,898	9,465,674
無形固定資産	54,640	56,799
投資その他の資産	163,499	166,381
固定資産合計	9,786,038	9,688,854
資産合計	11,156,892	11,022,249
負債の部		
流動負債		
買掛金	355,448	283,458
短期借入金	400,000	424,000
未払法人税等	11,500	56,700
未払賞与	68,700	53,500
前受金	173,611	184,362
ポイント引当金	2,388	2,171
災害損失引当金	23,506	23,506
その他	257,283	222,318
流動負債合計	1,292,437	1,250,018
固定負債		
退職給付引当金	654,791	650,527
役員退職慰労引当金	121,705	123,205
繰延税金負債	163,581	77,864
再評価に係る繰延税金負債	668,704	647,099
その他	290,830	290,830
固定負債合計	1,899,612	1,789,526
負債合計	3,192,050	3,039,544

(単位:千円)

	前事業年度 (平成23年11月30日)	当第1四半期会計期間 (平成24年2月29日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,455,000	3,455,000
資本剰余金	3,363,010	3,363,010
利益剰余金	741,384	735,763
自己株式	△23,044	△23,044
株主資本合計	7,536,350	7,530,728
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,606	△1,727
土地再評価差額金	432,098	453,703
評価・換算差額等合計	428,491	451,976
純資産合計	7,964,842	7,982,704
負債純資産合計	11,156,892	11,022,249

(2) 【四半期損益計算書】
【第1四半期累計期間】

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年2月28日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年2月29日)
売上高	1,245,864	1,277,780
売上原価	412,038	422,154
売上総利益	833,825	855,625
販売費及び一般管理費	870,585	839,960
営業利益又は営業損失(△)	△36,760	15,665
営業外収益		
受取利息	23	40
受取配当金	583	583
その他	170	—
営業外収益合計	777	624
営業外費用		
支払利息	1,369	808
その他	27	—
営業外費用合計	1,397	808
経常利益又は経常損失(△)	△37,380	15,481
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△37,380	15,481
法人税、住民税及び事業税	907	50,922
法人税等調整額	△9,711	△58,870
法人税等合計	△8,803	△7,947
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△28,576	23,428

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期累計期間(自 平成22年12月1日 至 平成23年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書計上額(注)
	ホテル事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,231,643	14,221	1,245,864	-	1,245,864
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	1,231,643	14,221	1,245,864	-	1,245,864
セグメント利益又は損失(△)	△43,189	6,429	△36,760	-	△36,760

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失(△)と一致しております。

II 当第1四半期累計期間(自 平成23年12月1日 至 平成24年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書計上額(注)
	ホテル事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,263,728	14,051	1,277,780	-	1,277,780
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	1,263,728	14,051	1,277,780	-	1,277,780
セグメント利益	9,380	6,284	15,665	-	15,665

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。